

第 65 回近畿高校バドミントン選手権大会県予選
兼
第 47 回全国高校選抜バドミントン大会県予選会（一次予選）

於 和歌山県立体育館

8月29日（水） 男子団体

1回戦 対 神島高等学校 3-2
2回戦 対 那賀高等学校 1-3 **ベスト8**

8月29・30日（水・木）

男子ダブルス **【☆近畿大会出場☆】**

瀧本奏斗（2D）・谷口椋星（2C） **ベスト 12**

2回戦 対 粉河高校 2-0 [21-1/21-10/-]
3回戦 対 那賀高校 2-0 [21-11/21-11/-]
4回戦 対 耐久高校 0-2 [7-21/9-21/-]
ベスト12戦 対 神島高校 2-1 [21-17/22-24/21-18]



女子ダブルス

森 祐奈（2B）・櫻山杏香（2C） **ベスト 16**

2回戦 対 星林高校 2-0 [21-16/21-17/-]
3回戦 対 和高専高校 2-0 [21-10/21-7/-]
4回戦 対 耐久高校 0-2 [2-21/7-21/-]
ベスト16戦 対 紀央館高校 0-2 [2-21/7-21/-]



8月30・31日（木・金）

男子シングルス

瀧本奏斗（2D） **ベスト 16**

2回戦 対 神島高校 2-0 [21-8/21-7/-]
3回戦 対 有田中央高校 2-0 [21-12/21-11/-]
4回戦 対 星林高校 2-1 [13-21/21-11/21-19]
5回戦 対 耐久高校 0-2 [7-21/12-21/-]
ベスト16戦 対 海南高校 0-2 [19-21/18-21/-]

今回の大会は、近畿大会への出場権を得るための予選会で、僕たち2年生にとって、近畿大会に出場できる最後のチャンスであり、1年生にとっても夏休みの成果を知るための大会と位置づけていました。

男子団体戦は1回戦突破を目標としていました。目標を達成することはできませんでしたが、大会初日の緊張感から、どの試合も不甲斐ない試合だったと思います。2回戦は、格上の相手だったということもあり、それぞれが持てる力を発揮して、立ち向かうことができました。

ダブルスに関しては、各々が近畿大会出場を目標として、夏休み中もずっと努力してきました。男女ともベスト8がけの試合で負けてしまい、敗者復活戦に挑む形となりました。残念ながら、女子はこの敗者復活戦で負けてしまい、近畿大会出場を果たすことはできませんでした。僕達男子ペアは、「近畿大会に行きたい」「絶対に勝つ」という強い気持ちを持って、試合に臨みました。ただ、その気持ちばかりが前に出て、パワーショットに頼り、多くのミスをしてしまいました。決して自分達が納得できる試合内容ではありませんでしたが、ファイナルセットで何とか勝つことができ、近畿大会出場を決めた時は、素直に嬉しかったです。

シングルスは早い段階で負けていく選手が多く、実際、僕もベスト16がけの試合において、この試合に負けると近畿大会出場の可能性はなくなるなどのマイナスの気持ちから、身体が硬くなり、動けなくなっていました。しかし、キャプテンとして負ける訳にはいかない・みんなの応援に応えたい・・・と最後まで諦めずにプレイし、勝つことができました。ベスト8がけの試合は敗退し、ダブルスと同様、敗者復活戦に挑む形となりました。しかし、僕はもともとシングルスに対する苦手意識が強く、普段の練習においても、シングルの練習を嫌がり、前向きに練習してきたとは言えない状況でした。もちろん近畿大会出場のために、最後まで諦めず、戦いましたが、後一步のところまで勝ち切ることができませんでした。これほどまでに普段の練習がいかに大切かを実感する場面はありませんでした。今更後悔しても遅いですが、やはり悔しい気持ちから涙がでてきました。

11月に京都で行われる近畿大会では、県の代表選手として出場させて頂くので、それに恥じないようなプレイを心がけたいと思います。また、今後は、今回の大会で感じた後悔をしないような練習に取り組み、1月の新人大会においてリベンジを果たせるように、より一層努力していきたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

バドミントン部 キャプテン 瀧本 奏斗